

第51回国頭地区中学校新人総体硬式テニス競技選考会

- 1 主 催 国頭地区中体連 国頭地区中学校硬式テニス県新人大会選考委員会
- 2 期 日 令和6年12月21日(土) 9:00～ 22日(日)予備日
- 3 会 場 名護市宮庭球場 (1コート～5コート)
- 4 実施競技 硬式テニス
- 5 参加資格 (1) 国頭地区中学校体育連盟に加盟している学校の生徒であること。
(2) 学校長が選手として本大会に出場を許可したものであること。
(3) 引率は出場校の校長／教員とする。監督については教職員(常勤)とする。教職員以外のコーチについては学校長が認めた者で、地区・県中体連に氏名登録された者とする。
- 6 対抗形式 (1) 個人戦：ダブルス、シングルスを行う。
※ シングルス、ダブルス共にリーグ戦とする。ただしエントリーが多い場合はトーナメント方式をとる場合もある。
※ 個人戦のシングルスとダブルスは兼ねることができる。
- 7 申し込み 締め切り：令和6年11月5日(火) 15時必着 FAXは不可
※ 各学校で全競技取りまとめて地区中体連理事長(名護中学校)へ提出
- 8 監督会 大会当日 8:45～名護市宮庭球場
- 9 参加料 参加生徒数×500円
- 10 抽 選 本部抽選とする
- 11 ルール・審判 沖縄県中学校テニス新人大会選考会「運営規定」に準ずる。
- 12 傷害処置 選考会期間中の傷害は、各学校(チーム)において対応する。

第51回国頭地区中学校新人総体硬式テニス競技選考会運営規定

1 期日・進行

- (1) 期日：令和6年12月21日(土) 9:00～
- (2) 場所：名護市宮庭球場
- (3) 競技進行予定（ドロー及び進行状況、天候などにより変更もありうる）
12/21：男女シングルス → 男女ダブルス

2 企画運営（国頭地区中学校硬式テニス県新人大会選考委員会）

3 競技方法について

- (1) 競技は個人戦（シングルス・ダブルス）を行う。
- (2) 試合はすべてリーグ戦方式にて行う。順位決定戦も行う。
- (3) 個人戦については、下記の通りとする。
 - ① 個人戦はシングルスとダブルスを兼ねて出場することができる。
 - ② ダブルスおよびシングルスは、ノードバンテージルで行う。＜天候や進行によって変更有り＞
連続試合の場合15～20分のレストを置く。
- (4) ノードバンテージルでは、40-40の時点で「デュス」ではなく「フォーティオール」となり、次のポイントを取った方がそのゲームの勝者となる。またこのときレシーバーは左右どちらのサイドでレシーブするかを選択することができる。
- (5) 天候や進行状況等により短縮ルールを適用することがある。

4 競技進行について ※選手に対して大会前に共通確認・指導を行って下さい！

- (1) 番号の小さい方の選手が第2試合目に組まれた時点で、速やかにボールを大会本部へ取りに行く。
- (2) 選手は試合開始のとき、審判用紙に自分の名前をサインし、対戦相手を確認してから試合を開始する。
- (3) 番号の小さい方の選手が、本部側のベンチを使用する。
- (4) 試合前の練習は、「サービス4球のみ」とする。空きコートになっても、ウォーミングアップをしてはいけない。
- (5) 1ゲーム後のエンドチェンジの時には、ベンチでレストをとることはできない。ただし、水分補給は行ってもよい。
- (6) 試合中、選手はいかなる外部からのアドバイスも受けてはならない。
- (7) エンドチェンジの際のレストは90秒以内とする。
- (8) ポイント間の時間は25秒以内とする。
- (9) 試合中、試合の邪魔にならないよう、隣のコートへは絶対に入らないこと。また、物を落としてはならない（試合の妨げになる）。
- (10) 試合中にケガをした場合、直ちに本部へ連絡し、審判長の指示でMTO（メディカルタイム・アウト）を3分以内でとることができる。ただし、同じ箇所のケガで、再度MTOはとることはできない。
- (11) 次の試合に組まれた選手は、そのコートの審判を行い、前試合終了後直ちにコートに入ること。
連続試合などの場合は相談の上で別の選手が審判を行ってください。
- (12) 試合の勝者はゲームカウントを確認してからサインをし、審判用紙とボールを持って本部へ報告する。

5 審判について ※選手に対して大会前に共通確認・指導を行って下さい！

- (1) セルフジャッジとする（『JTA TENNIS RULE BOOK』の「4. チェアアンパイアがつかない試合方法」を原則採用）。以下、簡易的に紹介する。
- ① サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに対して聞こえる声でスコアをアナウンスする。
 - ② ネットより自分側のコートについて判定をする。ボールを見失って判定できなかった時は「グッド」である。（あやふやなときは「グッド」とする）
 - ③ 判定とコールは、「相手に聞こえる声」と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに行う。
 - ④ ダブルスの判定とコールは、1人のプレーヤーが行えば成立する。しかし、ペアの判定が食い違った場合には、そのペアの失点となる。
 - ⑤ サービスのレットはレシーバーがコールする。

以下、教育的配慮のために大会独自に設定したルールとする。

- ⑥ コート審判をおく。次の試合の選手が審判をする。
- ⑦ コート審判は、原則としてその試合の記録のみを行なうが、明らかなミスジャッジの場合はオーバールールを適用し、ジャッジすることができるものとする。選手および観客は、コート審判に対し、クレームをつける権利はない。
- ⑧ ゲームスコアが分からなくなった場合などの競技上のトラブルは選手同士で解決しなければならない。但し、コート審判は両選手に依頼をされた際、その話し合いに参加できる権利を有する。選手同士・コート審判の三者でも判断が難しい場合は、コート審判が速やかに本部へ連絡する。
- ⑧ コート審判は次の試合にそのコートで試合する選手が行うこととする。ただし、試合の進行状況によっては、コートの変更がある。

6 服装・容姿について

- (1) 選手は試合の際、「テニス用ゲームウェア（ユニフォーム）」、テニス用シューズ・ソックスを着用する。
- (2) 出場選手はゼッケンを着用。

7 応援について

応援は拍手のみとする。拍手は両選手のグッドショットのみに行う、ミスに対して拍手はしない。監督は応援生徒の指導を行うこと。応援はプレーの妨げにならないようにする。

8 沖縄県中学校テニス新人大会について

男子：シングルス上位4名、ダブルス上位4ペア

女子：シングルス上位4名、ダブルス上位4ペア を沖縄県中学校テニス新人大会に推薦